



彩の国ネットワーク分科会 (サイバー攻撃対策) を開催 (11月27日 於:埼玉県県民健康センター)



講演:サイバー攻撃に関する実演とオリンピック等に向けた、全ての利用者が注意すべき対策
 (株)船井総合研究所 サイバーセキュリティチーム
 チームリーダー/シニア経営コンサルタント 那須 慎二 氏

サイバー攻撃の対象となり得る自治体、鉄道、電力、通信事業者及び競技会場の23事業者・団体48名に参加していただきました。
 講演では、実際に発生しているサイバー攻撃事例について、その対処方策を実演解説していただきました。

★全ての利用者が注意すべき、セキュリティ4つの対策★

- ①知る(脅威、手口、ニュース、被害の実態、履歴等)
- ②最新化(OS、パターンファイル、バージョン等を最新の状態に保つこと)
- ③多層防御(システム利用、専用端末化、重要情報の取扱制限等)
- ④組織作り・教育(経営者、幹部、社員等全社員に向けたサイバー教育、啓蒙活動)

※過去の感染事例から、「メールの添付ファイルの開封には細心の注意を払うように」と繰り返しお話がありました。

さいたまスーパーアリーナで テロ対策訓練を実施 (11月20日)



約350人が参加
 さいたま市消防局
 (株)さいたまアリーナ
 東京電力パワーグリッド(株)埼玉総支社
 埼玉県警察等

60名の方に視察(避難者役として訓練参加)していただきました
 今後もテロ対策への取組にご協力をお願いいたします

- 実施訓練
- 現地指揮訓練
 - サイバー攻撃対処訓練(電力復旧訓練)
 - 化学剤対応・救出救助訓練
 - 爆発物処理訓練

★県警からのお知らせ★

★振り込め詐欺被害多発★ 「家族の絆」で被害防止(ご家族を振り込め詐欺被害から守るために)

○ 振り込め詐欺の被害者は、ご家族やご親族になりすました犯人から「すぐに現金が必要」等の電話を受け、その話術で不安をあおられてしまい、誰にも相談することなく現金を用意してしまいます。現金を用意する前、犯人に現金を渡す前に誰かに相談をすれば、詐欺であることに気がつき、被害を防止することができます。

実際に、ご家族やご親族に相談したことにより、被害を防ぐことができた事例も数多く報告されています。

そこで、普段からご家族と積極的にコミュニケーションを図り、気軽に相談できる環境づくりをしていただくとともに、「現金が必要」等不審な電話を受けた際の相談相手について、あらかじめ決めておきましょう。



